

平成 29 年度第 2 回境川町地域審議会会議録

開催日時 平成 29 年 12 月 19 日 (火) 午後 4 時 開始
午後 5 時 15 分 終了
開催会場 境川防災センター 2 階 会議室
出席者 地域審議会委員 11 名 (欠席委員 2 名・桑原明、早川肇)
橘田支所長、深田

次 第 (進行：地域住民課リーダー)

1 開会

2 あいさつ

(地域審議会会長)

今年度も残すところあとわずかとなった。最後まで協力願う。本日も審議のほどよろしく願う。

3 委嘱状交付

4 あいさつ

(市長)

いよいよ年末、押し迫ってあわただしい日々をお過ごしのことと思う。雪は勘弁してもらいたい。すばらしい新春をお迎えいただきたい。元旦には坊が峯へお伺いする。皆さんのお元気な笑顔を見たい。支所も間もなく移転させていただくスケジュールとなっている。跡地の利用については未定である。皆さんのご意見を伺い決めていきたい。古い建物なのでアスベストが使用されている可能性がある。その場合は撤去費がアップする。御坂ひみね保育所の建物撤去時は 2,500 万円の予定が 4,000 万円に膨れ上がった。撤去に係る補助金はない。春日居支所もつぶしたい。そこもつぶすと 8,000 万円から 9,000 万円かかる。時間をいただきながら土地利用を決めていく。支所機能を維持していかなければならない。

支所事務、水道料金、都市計画税の話の提示することになっている。1 月 1 日から市内施設の利用料金を元に戻す。料金が倍になったとかご批判をいただいていた。65 歳以上の人は無料となる。8 割の団体は無料受付の登録を行っており、現在利用料条例の改正を行っている。貴重な税をいただく。施設を安価な金額で使っていただく。

ご挨拶だけで失礼することをお許しいただき、皆様も健やかに新年を迎えられることをご祈念いたして、ひとことご挨拶にかせさせていただきます。

5 議事 (議長：地域審議会会長)

(1) 支所事務室移転について

(地域住民課リーダー)

【資料に基づき説明。】

(委員)

この会議室は、夜は団体などの会議で使えるのか。

(地域住民課リーダー)

公的な会議である場合、これまでの支所同様、会議室を利用できる。そのときは市役所担当の責任において鍵の開閉をする。

(委員)

任意団体の利用は移転後どのようになるか。

(地域住民課リーダー)

任意団体の貸出は原則考えていない。現境川支所内での利用と同様に進める。

(会長)

大会議室は機能訓練として利用もするのか。

(地域住民課リーダー)

これまで保健施設としての利用をしていた。これからは支所機能を付加することになり、目的外利用となる。既に健康づくり課から保健施設としての利用をしないという申請を県を通じて国に提出している。

以上の経過により機能訓練室からは機能訓練の器具を全て撤去したので機能訓練を大会議室で行うことはしない。デイサービスの利用者は支所事務室とトイレに挟まれた廊下で歩行訓練を行うという。土足と上履きの区分をしていただくが理解を願う。

(委員)

現支所裏の駐車場はチェーンやポールを建てて閉鎖するのか。

(地域住民課リーダー)

現支所裏の駐車場はこれからも支所駐車場として利用する。従って閉鎖はしない。

また、防災センターは耐震基準を満たしていることから必要に応じて利用をすることとなる。利用しないときは鍵がかかった状態となっている。

(2) 移住定住事業について

(地域住民課リーダー)

【資料に基づき説明】

(会長)

境川町全体に空家がある。持ち主との話し合いで何とかなるかと思う。

芦川では空家があったとしても、お盆などに家人が集まる場として所有されており、なかなか提供してくれない。境川町の中ではそんなことはないと思うが、再生する費用はどうなのか。

(リーダー)

全て民間の責任において改築する。公的に支援する内容は、地区の説明会などで了解を得る際に会議の支援をするだけ。金銭的な支援は出来ない。民間自ら資金調達をしてもらい、事業を実施してもらおう。

(委員)

区長会で有楽町へ研修に行ったが、「来てもらう」というよりも都会の人が田舎暮らしに「あこがれ」を持っている。そうすると、古民家を直すのはその人の負担。この取組は、「こっちに来てもらう。」つまり、「住んでください。」という話なのか。それとも、都会暮らしの人があこがれてくるのか。

(地域住民課リーダー)

一般家庭向けではなく、「サテライトオフィス」という自然の中にある環境にパソコンが高度な環境で結ばれていればどこでも仕事ができる。この空間を提供する。古民家でお茶を飲んでいただくときは、やまなし暮らし支援センターの力も借りる。発信の対象者は一般の市民よりもオフィスとして古民家を貸していく。

ただし、確実にしていることは何もない。地区の皆さんが、賛同していただければこの事業を支援させていただきたい。支所、市役所はそう思うている。

(委員)

費用は古民家を探している人が負担するという。所有者が費用を出すということではない。

(地域住民課リーダー)

通常空き家とは違う。他の自治体では補助金制度があるところもある。本市にもあるが今回は対象外。

(会長)

問題は、提供している人は当然だが、毎月、家賃を払うのか。

(地域住民課リーダー)

家賃の支払いについては、個別に対応して相互理解のもと決めていく。

(委員)

サテライトオフィスについて、昨日の会議で聞いたことだが、山梨市の「デイサービスセンターおひさま」という、自分たちで運営している施設のことだが、利用できる建物を照会しに山梨市役所へ行ったら、今、空家の活用情報は、県外の人を呼び込むために発信しているとのことであった。市の職員は市外に目が向いている。

現在、少子化が進み、全国各地に一人暮らしの方がいる。地域の公民館でサロン活動を頻繁に実施しているが、地元の人たちがサロン活動をしたいから、市からの助成により古民家を活用してサロン活動が出来るような活用方法にも目を向けてほしいと思う。

(会長)

要するにお金がかかる問題。「貸してくれ」「いいよ」というように簡単にはいかない。個人的に交渉する必要がある。

(委員)

「人口を増やしたいと考え、外へ発信していく。」という。会長の言ったことも大事だが。

(会長)

ただ「貸してくれ」というだけでは貸し手も良い返事をくれない。お金が絡んでくるから問題。いずれにしてもいい頭をつかっていただき境川町にそういう方々を呼び込んでもらいたい。

(3) その他

説明（地域住民課リーダー）

(委員)

民生委員から意見が出た花のステージがロータリーになっている。今境川のメインとしてバイパスのほうがメインとなっている。花植えの場所をそちらへの意見を聞く。今の場所でもいいのかという意見も出た。みなさんに検討し意見をもらいたい。

(地域住民課リーダー)

支所ではふるさとづくり推進協議会を町内団体の長で組織し、花植えを年2回6月、11月にそれぞれ夏用、冬用の植栽をしている。場所も含めて協議会で決定、役員の協力をいただけるという前提でご了解いただき進めさせていただいている。今後にも必要に応じて会合を持つ予定。その時に提案をさせていただく。

(委員)

場所は元境川村の入り口であった。そこに圭林バイパスができたから。

(委員)

それも考えなければどこの土地なのか。

(地域住民課リーダー)

河川敷なので国の土地を借りている。植栽の際に、駐車場と安全に植栽作業ができるスペースが確保できることが条件。現在の場所は、駐車スペースもあり、十分な花壇の広さもある。車がぶつかる心配はない。安全安心に植栽ができる場所。このような現状も含めて会長から提案があった内容を協議会の会長、区長会長と相談をしながら進める。

(委員)

現在、坊ヶ峯の山頂に、藤壺区保全会によるシカ、イノシシ捕獲用の囲い罠が仕掛けてある。元旦の互礼会時に、多くの方が付近を歩く。囲い罠の侵入路にバリケードなど設置して注意を促してもらいたい。

(地域住民課リーダー)

担当に伝える。

(会長)

坊ヶ峯のトイレはきれいになっているか。

(地域住民課リーダー)

今すぐ使える状況ではない。管理を全くしていない。

(支所長)

23日に通り沿いだけは草刈りをする予定。トイレの整備まではできない。

(会長)

道路脇にある草は自先の人が刈るものだが、最近は手が付けられていない。

(委員)

藤堡保全会で草刈りをしたのできれいになっている。

(委員)

道路はきれいになっている。坊ヶ峯の上の方は草刈りがされていない。道路はきれいになっている。

(会長)

坊ヶ峯は当時は開墾をして農地を開拓した。

(委員)

「歩け歩け」互礼会るとき仮設トイレを当日だけ借りると金がかかるのか。

(地域住民課リーダー)

坊ヶ峯互礼会は村の年間行事として位置づけられたが、合併後は、境川体育協会を中心にわずかな予算で盛大に行われている。仮設トイレを互礼会の予算で借りることを協議会に伝えるが、それは不可能に近い。坊ヶ峯のトイレを使うか、使わないか。使わないのであれば、残しておくこと自体がどうなのか。それを判断するのは観光担当なので、意見があることを伝え、使えるのであれば使えるように維持管理するよう伝える。

(会長)

今までも、坊ヶ峯の上から石橋に降りる道があり使用できる。議会で取り上げた経緯があり、山ユリが植えられた。原から坊ヶ峯に向かっていく道は通れないと聞いたが、通れるのか。

(委員)

農地の現地調査で歩いて確認をした。通れる。

(委員)

私からパンフレットの配布と説明をさせていただく。

来年度、市民活動支援課のボランティアセンターで広報委員をすることになった。みなさんのところへ取材に行くかもしれない。手元に配布したパンフレットは「なんでもカフェ」についての資料。

2月17日に地域の自慢話をしてくださいという会。できたら多くの参加を願う。境川の宣伝にもなるので2月17日に参加を願う。

6 閉会（副会長）